

施 策 カ ル テ

1 施策の位置付け

						担当課	学校健康課
①総合計画 政策の柱	Ⅱ 市民の学び意欲と豊かなこころを育む ために	②政策名 (基本施策名)	信頼される学校教育を推進する	③取組の 基本方向	「信頼される学校教育を推進する」ため、確かな学力を身に付けた児童生徒を育成するための「学力向上の推進」、心身ともにたくましい児童生徒を育成するための「豊かな人間性と健やかなからだの育成」、信頼性の高い、特色と魅力ある学校づくりのための「地域と連携した独自性のある学校経営の推進」、教育施設の安全性・快適性を高めるための「教育環境の充実」、特別な支援を必要とする児童生徒に適切な教育を提供するための「特別支援教育の充実」、教職員の資質・専門性の向上を図るための「高い指導力と情熱をもつ教職員の育成」、生涯にわたる人間形成の基礎を培うための「幼児教育の充実」、市民の自己実現の一翼を担う「高校、高等教育の充実」に、重点的に取り組みます。	④政策目標 (基本施策目標)	信頼される学校教育が推進され、児童生徒が、充実した学校生活を送っています。

2 施策の現状と達成状況、課題の抽出

施策名	豊かな人間性と健やかなからだの育成						① 施策の 達成状況	H19：基準						達成率 (%)	
	児童生徒が、思いやりやたくましい心と体もち、規範意識をもって生活しています。							H20							
施策目標								H21							
施策を取巻く 環境	少子化や核家族化の進行に伴う地域の連帯感の希薄化などにより、家庭・地域社会での教育機能が低下する中で、朝食の欠食や食事マナーの低下、体力の低下、不登校児童生徒の増加などの問題が顕在化しており、更なる対応が求められている。							H22							
								H23							
								H24：目標							
								実績値							
								いじめの解消率（小・中学校）（%）						97.9%	
								新体力テスト総合評価のS～A段階の割合（中学校3年生）（%）						77.0%	
②市民の 施策満足度	20.7%	④ 施策の 評価	達成度 (単年度目標)	●	達成している (90%以上)	概ね達成 (70%～90%未満)	達成していない (70%未満)	説明	単年度の目標値と比較して、概ね9割程度達成している。						⑤ 現状 課題の 抽出
③市民の 施策重要度	80.4%		必要性 (住民・社会ニーズ)	●	増加している	横ばい	減少している	説明	施策「豊かな人間性と健やかなからだの育成」については、社会的ニーズが高まっている。						
			効率性 (事務事業の進捗)	●	十分である	不十分な事業が 一部ある	不十分な事業が 複数ある	説明	個々の事務事業の進捗もおおむね良好であり、施策全体として十分である。						
			有効性 (政策目標への効果)	●	十分である	やや不十分である	不十分である	説明	事業を推進することで、目標を達成に近づけるが、一部、食育の推進や、児童生徒の体力の向上、部活動のあり方など、検討すべき事業もある。						

3 今後の取組方針

①取組の 考え方	「豊かな人間性と健やかなからだの育成」は、学校教育の原点ともいえる施策であり、次世代を担う宮っ子育成のためにも必要不可欠な重要施策である。また、社会環境の変化に伴い、新たな対応が求められる施策でもあることから、状況やニーズ把握に努め、各事業の効果を検証しながら既存事業の見直しや新たな事業展開を検討し、食育や体力向上、児童生徒指導の充実に取り組む必要がある。	➡	②政策評価 会議意見	社会環境の変化に対応し、児童生徒が健全に育成されることが、学校教育に求められている。インターネットや携帯電話を使用した巧妙化するいじめや、成長期の子どもの食生活など、これらの課題に対応するため、宮っ子すくすくノーケータイプランや学校教育の食育推進事業におけるお弁当の日の実施などの事務事業に取り組みほか、体力向上のための元気っ子プロジェクトなど新たな課題に対応した事務事業を充実させる必要がある。
-------------	---	---	---------------	--

4 施策を構成する事務事業一覧

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	H19	H20	H19	H20	優先度	事業の 方向性	施策目標を達成するための取組方針
					目標値	目標値	事業費 (千円)	事業費 (千円)			
1	学校教育における食育推進事業 担当課 学校健康課	宇都宮市立小・中学校	H17	生野菜、果物給食の実施校（校）	93	93	23,138	16,152	A	拡大	お弁当の日を通して、食事について親子で共に考える機会を創出し、子どもたちの食への関心を高め、感謝の心を育むために、学年に応じた食育を実施し、学校での取組みや保護者への啓発について各学校への指導支援にあたること。また自校炊飯が実施できる環境の整備のあり方について検討していくこと。
					80	93					
2	うつのみや元気っ子プロジェクトの推進 担当課 学校健康課	宇都宮市立小・中学校	H18	新体力テストの実施校（校）	93	93	118	260	A	拡大	子どもたちの体力向上を図るためには、元気っ子健康体力チェックの実施や元気っ子チャレンジの認定など、元気っ子プロジェクトの事業に引き続き取り組んでいく必要がある。
					93	93					
3	部活動の推進 担当課 学校健康課	宇都宮市立小・中学校に 通う児童生徒	—	関東中学校体育大会出場者数（人）	250	250	4,024	4,308	A	拡大	生徒がいきいきと活動し、教師が意欲的に指導できるよう、宇都宮市部活動推進計画「うつのみや部活動いきいきプラン」を策定したが、さらに地域指導者の確保などにより積極的な取り組みが必要である。
					151	205					
4	「宮っ子すくすくノーケータイプラン」の推進 担当課 学校教育課	宇都宮市立小中学校に 通う児童生徒	H20	携帯電話のフィルタリングの設定率（%）	17.0	17.0	359	653	A	拡大	「社会全体の機運の高揚」、「小中学生への指導及び保護者への意識啓発の取組の着実な実施」、「関係団体との協働による取組の推進」の観点から重点的に取り組んでいくこと。
					17.0	17.0					
5	いじめゼロ運動の実施 担当課 学校教育課	宇都宮市立小中学校に 通う児童生徒	H20	いじめの解消率（%）	91.0	92.0	719	2,402	A	継続	各学校のいじめ対策の充実を図るため、児童会生徒会を中心とした取組を積極的に推進するとともに、市民の意識高揚や理解促進を図るため、いじめゼロポスター等による周知啓発活動を積極的に推進すること。
					91.0	94.0					
6	教育相談事業 担当課 教育センター	宇都宮市内の幼児（年長児）、小・中学生及びその保護者、教師等	S59	教育相談室で実施した延べ相談回数（回）	10,000	9,000	32,231	34,448	A	継続	相談の質の高さを維持しつつ効率的な運営を図り、児童生徒の健全な成長に資するため、本市の教育相談の中枢としての機能を十分に発揮できる相談室経営に努めること。
					8,595	7,924					
7	心の教育推進事業 担当課 教育センター	宇都宮市立小・中学生及び保護者、教師等	H13	スクールカウンセラーの派遣校（校）	31	31	81,130	79,227	A	継続	いじめ、不登校、集団不応等、児童生徒や保護者、教師が抱える問題に対応するため、スクールカウンセラー及びメンタルサポーターの派遣を継続し、校内の教育相談機能の充実を図っていくこと。
					31	31					
8	適応支援教室事業 担当課 教育センター	不登校の宇都宮市立小・中学生	H6	通級児童生徒の学校復帰率（%） (部分復帰や中学卒業後の進路決定を含む)	75.0	75.0	29,390	28,889	A	継続	不登校児童生徒が、学校復帰や社会的自立に向けて新たな一歩が踏み出せるよう、在籍校と連携しながら一人ひとりの状態に応じた支援を行うこと。
					71.0	73.0					
9	臨海自然教室の実施 担当課 学校教育課	宇都宮市立小学校5年生	H4	実施学校数（校）	68	68	15,657	18,439	B	継続	とちぎ海浜自然の家は、普段海に接することの少ない栃木県の子もたちに、海辺に宿泊しながら海の自然や海にかかわる産業・文化などに触れさせることを主要目的とした「海の分教場」として必要な施設であることから、引き続き継続して実施していくこと。
					68	68					
10	平和教育啓発事業 担当課 学校教育課	宇都宮市立小学校5・6年生及び宇都宮市立中学生	H8	ポスター応募者数（人）	100	100	38	42	C	廃止	平和教育については、各学校において授業の中で実施しており、市全体の事業において、中学生の広島派遣事業が全中学校対象となったことから、従来より多くの児童生徒への周知啓発を図るため廃止する。
					87	171					

様式 2

11	宇都宮・河内地区中学校体育連盟補助金	宇都宮・河内地区中学校体育連盟	S47	宇都宮・河内地区中学校体育連盟総会への参加(回)	1	1	3,193	3,193	B	継続	中体連主催の大会を現在の規模で実施するために必要不可欠な事業であるため、今後も継続していくこと。
	担当課	学校健康課		1	1						
12	宇都宮市小学校体育連盟補助金	宇都宮市小学校体育連盟	S48	宇都宮市小学校体育連盟事務局との打合せ(回)	2	2	2,972	2,972	B	継続	小体連主催の3つの大会は、児童の健康・体力の保持増進や生涯教育に役立っており、学校生活を活性化させることにもつながるので、継続して補助金を支出する必要がある。
	担当課			学校健康課	1	2					
13	米飯給食(委託加工)事業補助金	炊飯を委託している宇都宮市立小・中学校の給食運営委員会	S53	米飯給食回数の割合(%)	60.0	60.0	159,391	162,169	B	継続	炊飯方式の相違により保護者負担の給食費に差が生じないよう、補助により負担の公平性を図りながら、事業を継続すること。併せて、自校炊飯の拡大を検討していくこと。
	担当課			学校健康課	62.4	62.4					
14	学校体育・保健・安全の推進	宇都宮市立小・中学校	S58	医師会、歯科医師会との打合せ(回)	2	2	313	408	B	継続	児童・生徒の成長に専門的見地からの支援・助言等は欠かせないことから、今後も、医師会及び歯科医師会との連携・協力体制の強化を推進していく必要がある。
	担当課			学校健康課	2	2					
15	関東全国中学校体育大会宇都宮市選手派遣協議会補助金	宇都宮市立中学校運動部員	H14	関東全国中学校体育大会宇都宮市選手派遣協議会参加(回)	1	1	3,500	2,099	B	継続	関東・全国大会参加者の経費負担が大きいため、今後も補助を継続し、経費負担の軽減を図る必要がある。
	担当課			学校健康課	1	1					
16	給食費滞納対策事業	学校給食費を滞納している宇都宮市立小・中学校保護者	H19	現年度滞納者数(人)	0	0	2,064	2,064	B	継続	引き続き、現年度「滞納額0」を目標に各小・中学校の滞納対策本部を中心として滞納対策を行うこと。特に経済困難な滞納者に対しては各小・中学校において積極的に就学援助・生活保護制度の利用を勧奨していくこと。
	担当課			学校健康課	105	147					
17	県農産物供給円滑化促進事業補助金	宇都宮市立小・中学校の給食運営委員会	H18	県産農産物を1日3品以上使用する日の割合(%)	100	100	5,182	5,197	B	継続	県産農産物を毎給食日1日3品以上使用することを継続し、米飯給食については、週3回+年10回(新米の時期に5回・年間通して5回)を実施すること。ただし、県産物供給円滑化促進事業は、平成22年度以降の廃止が見込まれており、今後の対応を検討する必要がある。
	担当課			学校健康課	92.9	95.0					
18	交通事故防止の推進	宇都宮市立小・中学校93校の児童生徒	S40	新入学児童用ランドセルカバーの配布(校)	4,867	5,114	378	392	B	継続	児童生徒の交通事故は増加傾向にあり、生命に係わる問題であるので、交通事故防止に対する取り組みの一層の充実が必要不可欠である。
	担当課			学校健康課	4,653	4,834					
19	歯の健康教室	宇都宮市立小学校3年生	H9	実施学校数(校)	68	68	3,216	3,162	B	継続	事業開始から、数年が数年が経ち、歯科医師会、歯科衛生士会、学校(教員)との間で共通理解が図られ、円滑に実施されている。歯みがきの技能習得等にも効果があり今後も継続して実施すること。
	担当課			学校健康課	68	68					
20	就学時健康診断等事業	次年度宇都宮市立小学校就学予定者	S33	検査項目数(種類)	6	6	7,863	9,895	B	継続	学校保健法で実施が義務付けられており今後とも継続すること。
	担当課			学校健康課	6	6					
21	児童・生徒健康診断事業	宇都宮市立小・中学校児童全員	-	児童健康診断実施項目数(種類)	15	15	56,563	55,678	B	継続	児童生徒の健康診断は、学校保健法により学校の設置者の義務として明示されており、今後も継続して取り組んでいくこと。
	担当課			学校健康課	15	15					
22	事故災害共済費	宇都宮市立小・中学校加入児童生徒	S53	学校数(校)	93	93	37,635	37,912	B	継続	保護者に災害共済給付金の制度について理解していただき、全員に加入してもらうよう努めること。
	担当課			学校健康課	93	93					
23	地域学校安全指導員配置事業	宇都宮市立小学校	H17	スクールガード・リーダー訪問校数(校)	68	68	1,439	1,386	B	継続	児童生徒の安全に関わることであり、交通事故や不審者による事件が増加している現状から考えても、学校安全対策を充実させることが必要である。ただし、スクールガードリーダー配置事業は県からの委託事業であり、費用負担の見直しが提案されているので、その対応について検討していく必要がある。
	担当課			学校健康課	68	68					
24	性教育サポート事業	宇都宮市立中学校3年生	H14	実施学校数(校)	25	25	819	819	B	継続	性教育は現代的な課題であり、産婦人科医会との連携を深め、更に充実させていくこと。
	担当課			学校健康課	25	25					
25	小・中学校体育活動の推進	宇都宮市立小・中学校児童・生徒・教職員	S47	学校訪問指導回数(回)	93	93	1,819	1,490	B	継続	新学習指導要領に対し、各学校の体力向上、基礎基本の定着、評価方法の見直しなど積極的な取り組みが必要である。
	担当課			学校健康課	93	93					
26	栃木県中学校体育大会宇都宮市選手派遣協議会補助金	宇都宮市立中学校運動部員	S47	栃木県中学校体育大会宇都宮市選手派遣協議会総会参加(回)	1	1	14,024	14,024	B	継続	中体連主催の大会における参加生徒の交通費を一部補助することは、保護者の交通費負担額を削減し、運動部活動加入率の向上にもつながるので、今後も継続していく必要がある。
	担当課			学校健康課	1	1					
27	文化関係各種大会参加補助金	関東大会及び全国大会に出場する宇都宮市立小・中学校の文化部員	H4	参加団体数(団体)	15	13	2,220	2,020	B	継続	関東大会及び全国大会に出場する小・中学校の文化部の児童生徒たちが、希望どおりに参加できる状態を目指すこと。
	担当課			学校教育課	15	13					
施策事業費合計							489,395	489,700			